

教科	国語	単元名	私のタンポポ研究
----	----	-----	----------

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用スキル

C-STEP4, F-STEP4
G-STEP4

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力

- (教科等でつきたい力)
- ・事実と考えなど情報と情報との関係について理解している。
 - ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使うことができる。
 - ・事実と考えとの関係を捉え、要旨をつかむことができる。
 - ・目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。
(学校図書館等の活用でつきたい力)
 - ・身近なものに対する疑問を解決する際の重要な情報源として、図書を活用する。
 - ・自分で適切な情報を入手する練習を行う。

単元における学習の展開 (全8時間) (学校図書館等を活用した時間に☆印)

第1次 (4時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・通読 語句の意味調べ ・音読 文章構成を考える(個人ワーク) ・文章構成を考える(班活動・話し合い)【本時】 ・文章構成を確認する(全体)
第2次 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・事実と筆者の考えを整理する ・整理した内容をふまえ、本文を要約する
第3次 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の身近な環境における疑問点を挙げ、図書を活用して答えを見つけてレポートにする☆

本時のねらい

- ・本文の特徴を捉え、文章構成を考えることができる。
- ・自分の考えを整理し、言葉にして班のメンバーに伝えることができる。
- ・周りの意見と自分の意見を比較し、考えを深めることができる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用及び言語能力の育成のためのポイント・指導上の留意点
導入 (5分)	1. 本時のねらいの確認 ○前時までの復習 ・文章構成を考える際の段落の役割の確認 ・自身が分けた文章構成の在り方の確認	・「オオカミを見る目」の時のノートを用いて振り返り、これまでの学びにつながりを持たせる ・自身の意見を本文中のことばをもとに説明する準備を促す
展開 (40分)	2. ○班活動にて、お互いの意見を交流し、相違点を確認した上で、どのような文章構成になっているかを考える。 ・意見交流 ・お互いの意見の一致/相違を整理 ・説得力のある説明のしかたを考える ・自身が読み切れなかったところ、考えが及ばなかったところを班の人の説明を受け理解につなげる ・話し合った内容をプリントにまとめる ○班でまとめた内容から、オクリンクを使い発表ボードを作成する ・班で役割分担を行い、一人1枚は作成 ・各自が分担したボードをつなげ、班で代表者が提出 ○全体が提出できたら、クラス全員が発表ボードを見られるように切り替え、他の班の意見を確認する	・話についていけない生徒がいれば、話の焦点がどこにあるのかを整理し、どの部分を読めばいいのかの助言を行う。 ・話し合い活動が行き詰っている班には、状況を整理させ、問題点とそれを考えるヒントになる部分を助言する。 ・相手の意見を受け入れ、お互いの意見を比較するよう促す。 ・単なる意見交流にならないよう、説明の仕方を指導する(教科書のどこに何が書いてあるか、段落の役割は何か、何を根拠に分けたのかを具体的に説明させる)。
まとめ (5分)	3. ○ねらいを再確認し、ふりかえりを行う ○次回の授業の説明	・話し合い活動が適切にできていたかどうかを振り返る ・他の班との意見の相違点を比較するように指導する。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

説明文の読みは小学校から学習しているので、そのつながりを意識して指導しています。単なる意見交流にならないよう、教科書に書かれている事実をベースに話をすすめていくことを大事にしています。
生徒同士で話をすすめられるよう、教師からの声かけは最小限にとどめています。



班で根拠をもとに、自分の考えを伝え、聴き、考える。